4月のゆりの樹通信

令和２年度 vol. 1

「右手に愛、左手に勇気を携えて、夢と希望を胸に
未来に向かって大樹のように伸びていってほしい・・・
ゆりの樹幼稚園の願いです」

園長　髙杉美稚子

今回、どのようなゆりの樹通信にするか、ずいぶん迷いました。こんなに悩んだ四月は初めてです。ゆりの樹幼稚園は、教育の何が今一番大切かを考え、その実現のために、子どもたちにとって20年先を見据えた大切な感動の教育、物的環境、人的環境をこれまでも整えてきたつもりです。

周りの園がどこも取り組んでいない時代に、防犯カメラ、職員全員にパソコン、園内ランや携帯電話（園内用、バス用）を導入し、園内もプラズマクラスターやジアイーノをいち早く設置し吉塚はキラキラタワー、スペースシャトル、ゆうきの樹、玄海はけやきホールの遊具、けやきデッキ、自然に囲まれた環境と体験、保育もドリカムタイムやクリスマスナイト、探検保育、卒園旅行、1/4 成人式や、年長組では吉塚はバースディショッピング、玄海はバースディ乗馬、ミュージカルをはじめとする数々の、学年別の行事や日頃の絵画活動や壁面構成などなど、子どもたちのアッと驚く心に残る感動の保育をプログラミングしてきました。

今年３月からの保育はもちろん、園舎も空気循環をしておりますが、窓の開放と、次亜塩素酸水（ナトリウムではなく肌にも優しい塩で生成する除菌水です）を生成できる機械を、何か起きてはいけないとの懸念から、早く園内に取り付けて、タオルは使わずペーパータオルを使用し、拭き上げ、次亜塩素酸水を一時間ごとに噴霧し、無事に卒園式を迎えることができましたが、春四月、令和になって初めての四月は世の中の大人にとっても子どもたちにとっても、つらい幕明けとなりました。

子どもたちの未来を考えたとき、健康を守る為の基本が、規則正しい食生活、手洗い、うがい、適宜な運動、こころのケアには深い呼吸であることを考えると、やはり、私たちがゆりの樹幼稚園を継承したときに掲げた教育理念に立ち返り、もう一度大切に伝えることだと感じましたので、その理念をゆりの樹通信の題にいたしました。

時には空を
見上げて
みましょう♡

ゆりの樹幼稚園の桜

卒園式で、保護者の皆様に伝えた言葉でもあるのですが、今回のコロナウイルスは

初めての体験ばかりです。

まだ起きていないときに、今ここでの決断ができる力を養うことがとても
大事です。他者責任にせず、情報を取捨選択し、「自分の目で見て、耳で聞いて、
心で感じて、伝えていく、そして最後は自分で考えて、自分で決める。」
ゆりの樹幼稚園の園児と毎日のように交わす「愛言葉」です。

今回のことを通して私たちが学べる事は、

今、目の前に起きていることに対して、最大限にできることに柔軟に取り組み、
何事も周りにいる人たち、家族や友達と手を携えること、

当たり前のことが当たり前にできることの有難さを感じて、家族や友達と共に、
乗り越えて生きてくれる、豊かで広い、優しく、深い、思いやりの心が育つ
教育環境と人的環境、そして、感動の教育と家庭教育の大切さ。

その為にも現実をしっかり見据え、今できることに取り組んでいく、冷静さと
忍耐力、客観的な判断力を培うことが、やはり大切だと思う毎日です。
その為には、本当の意味での人間力を培うこと。

だからこそ、今、家庭と連携して、仲間と手を取り合って、心ひとつに、教育の根幹に立ち返る
ことが必要だと思います。
自分を、相手を信じること、相手を信じることができる自分を、自分が自分を信じ認めて
信じること。信頼関係を気付くこと、その根底がなければ、先には進んでいくことは
難しいように思います。

その根底にある大切なことは
「子どもといえども、一人の人格、人間としての
尊厳を大切に褒めましょう、叱りましょう。
そして、大人といえども、子ども心はみんな
持っている。自分で自分のいいところを褒めて
認めましょう、自分を顧みて謙虚に慎み、
正直に、感謝してあの台風が来ても枝折れしない
柳のようにしなやかに、柔軟に生きて
いきましょう」

「ゆりの樹幼稚園の目指す人間像」
につきます。

ゆりの樹幼稚園のめざす人間像

1、心と体が健やかな人ー明るく、元気
人の良いところに焦点をあて、笑顔を保つことができる

2、謙虚な人ー優しく、さわやか ⇔遠慮
人の成長を自分の喜びとし、手柄を自慢しない
相手をたて、「ごめんなさい」が言える

3、正直な人ー自他肯定、愛らしい ⇔従順
「わからないことはわからない、教えて、助けて」と言え、
聞くことができる

4、感謝できる人ー他者肯定、素直 ⇔へつらい・ごます
起こることすべてを受け止めて、必要だった、だからよかったと感じ、
「ありがとう」が言える

5、柔軟性がある人ーかしこく、温かい
内(自分の問題・ストレス)外(クレーム・アクシデント)の
どんな変事にも対応しようとする

6、勇気がある人ーどっしりとして力強い
自分を信じて新しいことにチャレンジ、
最後まであきらめないで一歩を踏み出すことができる

7、自己責任がとれる人ー凛として、おだやか
自己承認し、言い訳をせず、人のせいにしない
「だって・でも・どうせ」を言わないで、⇔賞賛
今、何ができるかを考えようとする

また、自分を認め、信じられるようになるためには、

自分の感情に気づいて、感情に気づくから、自分で決められ、自分が決めたことだから最後まであきらめず、相手と自分が違っていても認めて共感ができる自立の循環を獲得する中で、相手に伝えて、ともに喜び、楽しみ、素晴らしい自分の人生を歩むことができる「ゆりの樹幼稚園の考える自立の循環」と「ゆりの樹幼稚園の１０Ｅ」が大切です。

自分を承認し、自分を信じ、子どもたちの自尊感情をどのように育むかが大切です。
その為にはどのように、褒め、叱るかです。
下記の、私が、尊敬する、倉橋惣三先生（日本の幼児教育の父といわれている）の言葉は、大正時代に書かれたものですが、今尚、私たち教育者の心を揺さぶるものがあります。

－ただほめれば良いというものではない。何をほめるかを間違ってはいけない。

子どもが何かを達成したときに真剣にほめるのが大切である。－

時代は日々変わり教育の実践、方法、環境論は、日々向上していかねばならないと考え、ゆりの樹幼稚園では常に２０年先を考え、と同時に「今を大切に」教育のあり方を進めていますが、その心は今も昔も変わりません。

決めるということに関しては、私はこの三月、私自身が、園児や保護者の方のコロナの感染源になってはいけないと６つの大学の、客員教授や講師を辞退することを決めました。
そして　それまで付き合っていた、最近の学生さんを振り返ってみるとどのような叱られ方、褒められ方をしてきたのか気がかりになります。

自分を信じる、相手を信じる心が育っていない学生が増えているような気がします。そんな学生さんにもゆりの樹の教育を学生さんに実践的なワークを通して伝えるとみるみる成長してくれます。その成長の姿を見れないのは残念ですし、ゆりの樹幼稚園の教育を根幹とした授業を、これから幼稚園現場に巣立つ学生さんに伝えられないのは残念ですが、自分で決めたことですからなんの後悔もありません。

次に大切なことは目の前の現実をどうとらえるかということですが、

現実とは我々が認めるものである。認めるものは、知覚に支えられている。知覚するものは我々が探しているものである。我々が探すものは我々が考えるものに依存している。
理論物理学者　デビット・ボームの言葉があります。

私たちが現実だと思っている世界は、私たちが現実だと言い、感情移入したものが現実だそうです。そうすると、目で見えている世界はすべて自分で作り出しているイリュージョンのような気がします。自分の思考と認識と行動と自己の価値観によって作り出しているものが現実だとすれば、自分を信じることが成功へつながっていくのではないでしょうか。

人はみな完璧ではありません。なにびとにも必ず欠点はあります。そして、欠点そのものが魅力になる時もあります。欠点があるからこそ、味がある、人間はどこか欠点がないと面白くもないものと思うのです。その足りないところをひとつの魅力にまで高めることが出来たら、本物であるし、夫婦関係も含めて相手の欠点こそが大好きになれたら、こんな深い結びつきの人間関係はないと私は思うのです。

その目標を達成に近づける為に私の実現可能な小さな行動は、今目の前に起きていることを冷静に見る力と、物事の両面を同時に見ることが出来るようにすることです。具体的にわかりやすい例で言うならば、オードリーヘップバーンのしわが晩年美しかったように、角度を変えれば、見えてくる景色は変わってきます。

自分にも、我が子にも家族にはみんな欠点があります。そしてそれは別の見方をすれば素晴らしい素敵な点であるのです。その素晴らしい点に目を向けるほうが、優しく、笑顔になれるし、欠点こそが好きになれたなら、自分も、家族ももっと愛してあげられるようになるのではないでしょうか。こんな時代だからこそ、欠点こそがいいことだと受け止め、自分にも、相手にも許し、認め合い、助け合える、温かい集団であり続けたいと思います。

今、自分にできることをいつも見定め、生きていきたいと思いました。
毎日奮闘している、医療従事者、自衛隊などの方のことを考えると、私達も教育者魂を持たなければと決断いたしました。今こそ、真の教育者でありたいと思います。
最前線で命を張って頑張っていらっしゃる方々の後ろ姿に感謝して、私達も基本的な生活習慣と教育の根幹を忘れずに何とか乗り切りましょう。

悲観的にも、楽観的にもなることなく、今、できることに集中して乗り切りましょう。私たち教育者も子どもに負けない心、心はひとつ、保護者の方と、教師集団の結束力が大切です。
今年度もよろしくお願い致します。
紙面がなくなりましたので、叱る、褒めるについては次回に・・・

時には足元をしっかり
見つめてみましょう♡

ゆりの樹幼稚園のチューリップ

輝く太陽めざし、この地球を自分の足であるいていってくれること願いながら…

今年度が明るい未来へ繋がることを信じましょう。信頼関係を大切にして・・・